

Recherche 00018 アームパフカーディガン仕様書

ニット用

パターンパーツ数 7

～付属品～

伸び止めテープ(ウーリースピンテープ)

接着芯

留め具

サイズ	70	80	90	100	110	120	130	
身丈(※NP～裾)	31	33	35.5	38.5	41.5	44	46.5	
肩巾	19.5	20.5	21.5	22.5	23.5	24.5	25.5	
バスト	26	28	30	32	34	36	38	
ウエスト	23.5	25.5	27.5	29.5	31	33	35	
袖丈	23	27.5	31	35	41	44	46	
袖口巾	7	7.5	8	8.5	9	9.5	10	
用尺	110 cm巾	64	70	76	82	92	98	103
	150 cm巾	39	41	44	46	93	96	103

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 二本針四本糸ロックミシン使用を想定しています。それ以外の場合は着用し辛くなったり、糸切れの原因になりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 作り方 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方角や伸びに注意しながら裁断します。

ノッチ(合印)を入れます

裁断時、わ になった部分にもノッチを入れます。(BC、後見返し BC)

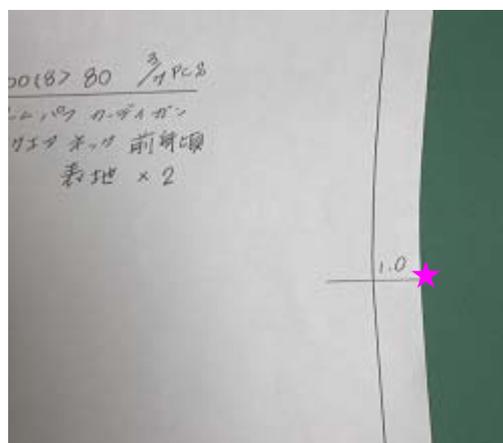
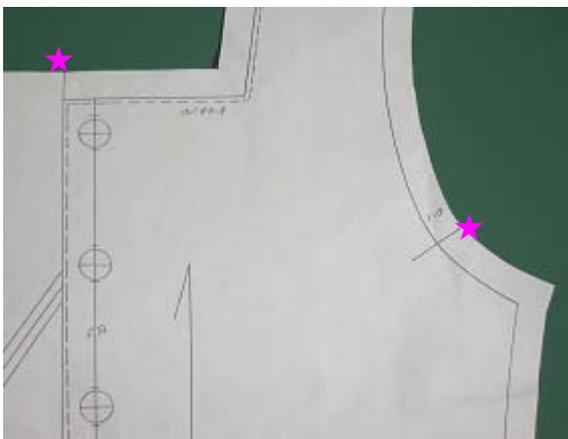
スクエアネック前身頃の前あき出来上がり線(折り返す位置)にもノッチを入れます。

下画像★がノッチ位置です。

※ノッチとは、縫い代に0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。



伸び止めテープ・接着芯を貼ります(※本仕様書では省略しています。)

「後身頃 SL(肩線)の縫い代の裏」に伸び止めテープもしくは接着芯を貼ります。

「前身頃見返し」と「袖口」の全面に接着芯を貼ります。

スクエアネックの場合は「後見返し」の全面に接着芯を貼ります。

前・後身頃の SL をロックミシンで縫い合わせます

「前身頃の SL」と「後身頃の SL」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックで縫い合わせます。



袖

ロックミシンのメスをロックし、送り目の目盛りを最大にし、作動を最大(縮むよう)にします。

「袖の袖口側」に切り落としなしで 5 mm巾ロック(4 本糸)をかけ、ギャザーを寄せます。



布端の針糸 2 本を目打ち等で抜き出します。
パターン指示の寸法になるように 2 本の糸を一緒に引きギャザーを寄せます。



ギャザーを均等に整えます。



「袖口」を**外表**に半分に折ります。



「袖」と「袖口」を**中表**に重ね、**5mm切り落とし**しながら**5mm巾ロック**で縫い合わせます。

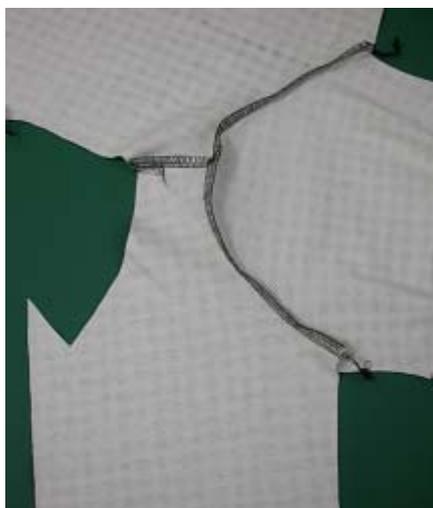
(※次ページに注意事項あり)



～注意～

※袖と袖口の縫い合わせの際は、袖口を下にして袖のギャザーが押さえに押し戻されないよう整えながら縫いすすめます。

「身頃」と「袖」を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。SLの縫い代は後身頃側に倒します。



「袖口～身頃脇」を5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。袖ぐりの縫い代は身頃側に倒します。



「袖口の縫い代」を後側に倒し押さえミシンをかけます。

■ V ネック ■ ※スクエアネックの場合は 11 ページへ

端かがり処理



3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「前あき縫い代の端」にかけます。



3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「裾」にかけます。

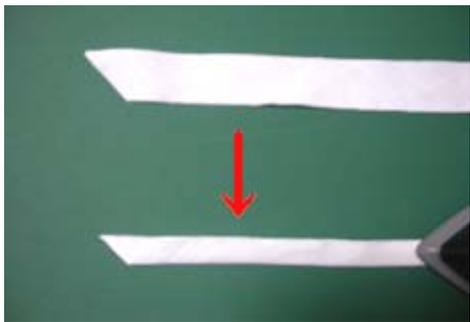
※脇の縫い代は後身頃側に倒します。

衿ぐり用バイヤステープを用意します。

※6 mmと細めのバイヤステープ処理をするため、縫い外しにくいバイヤステープを作ります。



バイヤス(生地地の目に対して斜め)に 20 mm巾で布を粗裁ちします。



外表になるよう半分にアイロンで折ります。
テープを引っ張り伸ばした後、18 mm巾に切りそろえます。

※衿ぐり寸法より少し長めに用意しておきます。



身頃の見返しを中表に折り返し、バイヤステープを重ねます。

※衿・身頃縫い代端より2 mm控えます。

※見返しに1.5 cm重ねます。



バイヤステープの端から3 mmの位置を
直線ミシンで縫い合わせます。



※拡大



「身頃の縫い代」をバイヤステープに揃えて切り落とします。

※見返しに隠れる部分はできるだけ縫い代を残します。

「前身頃の見返しの裾」に直線ミシンをかけます。



「前あき」と「衿ぐり」に直線ミシンでステッチをかけます。



「裾」に直線ミシンでステッチをかけます。



留め具

ボタン(ボタンホール)やスナップを付けます。

----- 完成 -----

■ スクエアネック ■

端かがり処理



3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「裾」にかけます。

※脇の縫い代は後身頃側に倒します。

前身頃の見返しを出来上がり線で折り返し、後衿見返しを右下画像の様に重ねます。
(※見やすくする為、下画像では袖が付いていませんが、実際は袖付けが終わっています。)



「前見返しのSL」と「後見返しのSL」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックで縫い合わせます。





3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「前・後見返し」にかけます。

SL の縫い代は前身頃側に倒します。(ごろつきを防ぐ為)



身頃を反し、見返しと身頃を中表に重ねます。



「身頃」と「見返し」の衿ぐりの出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

SL の縫い代は前身頃側に倒します。

(身頃の SL の縫い代は後身頃側、見返しの SL の縫い代は前身頃側になります。)

前あき折り返し位置の縫い代(左下画像)と衿ぐり内角(右下画像)に切り込みを入れます。



後見返しの内角にも切り込みを入れます。

「前身頃の見返しの裾」に直線ミシンをかけます。





見返しを裏に反し「前あき」と「衿ぐり」にコバステッチをかけます。



「裾」に直線ミシンでステッチをかけます。



留め具

ボタン(ボタンホール)やスナップを付けます。

-----完成-----